1　国語

学校番号	３００４

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	2	年次	2
使用教科書	新編国語総合　（東京書籍）						
副教材等	常用漢字クリア　四訂版　（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

・２年生では１年次に学習した基礎的な古文、漢文の知識を踏まえ、古文漢文の読解だけでなく現代文の発展的な学習を行います。
・読む力の育成とともに教養を深めてください。各単元においては登場人物の心情理解や場面の把握を正しく理解してください。読む力の育成とともに教養を深めてください。また、読めない漢字や知らない言葉があればすぐに調べて理解できるよう心がけてください。
・漢字の小テストは基本的に毎週行いますので、しっかりと予習を行い、正しい漢字の読み書きができるようにしてください。
・漢詩や和歌の学習においては修辞技法の習得やその歌の意味をしっかりと考えるようにしてください。
・予習として本文を読むことはもちろん、主体的にどんな内容か考えて毎授業を受けてください。また内容を振り返り、復習は必ずしてください。
・定期考査まで学習計画を考える。提出物は必ず出すということはしっかり行ってください。

2 学習の到達目標

・文章の内容把握や登場人物の心理描写、場面の理解が正しくできている。
・古文、漢文の基本的な語句や文法の習得ができるだけでなく、古文、漢文を学び過去と現在違いや共通する点を理解することができる。
・適切な語句を選ぶこと、自分の思いや考えをしっかりと述べることがことができる。
・様々な文章を読み論理的な思考を深めることや語彙力、想像力を高め活用することができる。
・発表などの場において、他者を尊重し理解を深め、互いに正しく思いや意見を伝えることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	お互いを尊重し伝え合う力を高めることができ、文化に対する関心を深め、国語力を育成、発展させている。	目的や場に応じて理解しやすい発言ができ、正確に聞き取り内容理解ができ、互いに話し合い、自分の考えを的確にまとめている。	適切な語句や修辞技法を使うことができ、その場に応じた的確な表現による文章が書け、自分の考えをまとめ発展させている。	文章を正確に読み取り、内容の理解や登場人物の心情把握、筆者への理解ができ、幅広く読むことで、自分の考えをもつことができる。	日本の近現代や古文、漢文などの背景にある文化理解、言葉の特徴やきまり、漢字や語彙などの知識を正しく身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 発表 ワークショップ	記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート、等） 定期考査	記述の確認及び分析（ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	本を紹介する	【近代以降】 〈本を紹介しあうことで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材:「ブックトークをしよう」 ワークシート	○	◎			○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と記述の確認
1学期		教材: ワークショップ 「自己を語る」	○	◎			○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認

	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「羅生門」	○	○	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b:「羅生門」の続編にあたるものを考え、グループで話し合う。 c:「羅生門」の続編にあたるものを考え、短編小説をつくる。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認及び分析 d、e: 記述の確認、朗読テスト、小テスト及び定期考査
	歌物語を読む	【古典】 教材: 『伊勢物語』 「芥川」 ワークシート	○		○		◎	a:物語に描かれた人物,情景,心情などを表現に即して読み取ろうとし、物語の世界を読み味わおうとしている。 c:「女」の人物像や和歌を中心に、「男」の心情の推移を読み取り、自分の意見をレポートで表現することかできる。 e:助詞や助動詞に注意しながら現代語訳して、読み取った内容を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c、e:記述の確認朗読テスト、小テスト及び定期考査

2学期	漢詩	【古典】 教材: 唐詩「八首」	○			◎	○	a:現代日本の言語文化が、中国をはじめとする異文化を受容し、変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:唐という時代のおおまかな認識を持ち、唐詩（近体詩）の基本となる規則と特徴を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認、朗読テスト、小テスト及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「りんごのほっぺ」	○			◎	○	ａ：作品から読み取れる主題（戦争）について議論し、戦争体験を語り継いでいくことの意義について考えを深める。 ｄ：文章全体の概略と構成上の特色を把握する。 「私」と「Ｔ君」との出会いやその時の「私」の心情、場面ごとの「私」の心情変化を把握する。 ｅ：戦時中の人々の生活について調べ、戦争体験を語り継いでいくことの意義について考えを深める。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び小テスト e:小テスト、定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「とんかつ」	○			◎	○	a:表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しもうとしている。 d:心の触れ合いを描く小説を読み、会話や行動の描写に着目して人物の心情とその変化を読み取る。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認、朗読テスト、小テスト及び定期考査

3学期	随想の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「鍋洗いの日々」 「短歌･俳句	○	○		○	◎	a:題名の意味を考える。 b:考えの進め方や、文章の筋道を的確に捉えている。 d:歌・俳句の意味や作者の心情を読み取る e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認、小テスト e:成果の発表、小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。